

# CHIBA MAKUHARI ROTARY CLUB



## 千葉幕張 RC 週報

第 1689 号 2026 年 4 月 21 日 天候 雨のち晴れ 写真 上野卓爾 編集・事務局

### ☆☆ 会長挨拶 ☆☆



### 放生 知晃 会長

本日も例会に参加いただきありがとうございます。

森田敬様、ようこそ千葉幕張 RC にお越しいただきました。卓話をさせていただけるということで楽しみにしております。

さて、今月のロータリーのテ

ーマは、「環境月間」となります。先月、地区の廻社会奉仕委員長から環境について卓話をさせていただきましたが、私自身、「環境」というと自然との共生に目が行ってしましますが、「環境」という文言からは生活環境、教育環境や住環境など身の回りの物理的な条件や状況を指すこともありかなり広いテーマであると感じております。

ロータリーのテーマとしては自然との共生を目指す「環境」を指していることと思いますが、ロータリアンとして何が  
できるか、常に考え続けていたいただきたいと思ひます。

4/7 にここで例会が行われてからのクラブの活動についてご報告させていただきます。

まず、先週千葉港 RC との合同例会を開催しました。多数の会員のみなさまにご参加いただきありがとうございました。特に宇佐見 P G、尾形親睦委員長、高橋幹事にはいろいろとお手配いただきありがとうございました。一般の方が立ちることのできないところを見学させていただき、貴重な体験ができました。

私自身は、滑走路で皆さんが童心に帰って飛行機の離着陸を見ている様子が印象的でした。

次の 4/15 には新千葉 RC の 60 周年記念式典に出席、をしました。200 人を優に超える人が参加されていました。

時系列は逆になりますが 4/12 にロータリー財団奨学生候補の面談に立ち会ってまいりました。残念ながら当クラブから推薦した中村さんは落選となってしまいましたが、貴重な経験ができたこと感謝のメールをいただいております。

4 月の例会は本日が最終ですので、これからの主行事をお伝えします。4/26 には地区のラーニングセミナー、5/10 の午前中に千葉港 RC が主催の千葉港周辺清掃活動がございます。

また、アートフレンズ展も行方社会奉仕委員長、小川タスクフォースリーダーを先頭に準備を進めていただいております。5/18 の搬入から、5/24 の最終日までマンパワーが必要です。皆さんのご協力を何卒よろしく願ひいたします。それでは理事会報告をさせていただきます。

(議事録を参照ください)

### ☆ゲスト卓話☆ 森田 敬介 様

#### 演題 問題のある建築系制度の紹介

#### ～ 消えてゆく価値ある建築とまち並み / 千葉県産木材の建築利用 ～



森田建築設計事務所 主宰  
企業組合 コミュニティーフォーラム 理事長  
日本大学理工学部 海洋建築工学科非常勤講師  
公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会 代表

#### ●消えてゆく価値ある建築とまち並み

日本ではとくに近代建築が相次いで解体の危機に瀕していますが、2002 年に制定された都市再生特別措置法によって都市の再開発が奨励されており、古いものを残そうという思想からは真逆の方向に進んでいます。

\*\*\*\*\*

戦後再出発にあたり、「文化国家」が国是だった・・・  
46 年 11 月 3 日、日本国憲法公布記念式典の勅語で言及された。翌年の施行時には吉田茂首相が、国民は「民主主義に基づく平和国家、文化国家として再建する重大な責務を持っている」と述べた。

78 年に就任した大平正芳首相は施政方針演説で「物質文明自体が限界にきた」と、経済中心の時代から文化重視を目指す時代になったとの認識を示している。

大平氏が委嘱した研究会は 80 年の報告書で、政府は文化振興政策を確立する「努力を怠ってきた」と指摘し、文化予算の割合を 0・1%から 0・5%程度に引き上げるべきだと提言した。だが、政策への反映はまったく十分とは言えない。

2001 年（平成 13 年）には、文化振興に政府が果たす役割を明確にした文化芸術振興基本法 が制定され 2003 年度になってようやく日本の文化関連予算が初めて 1000 億円を超えた。

しかし、国の予算に占める割合は 0・1%前後で推移し、フランスの 8 分の 1、韓国の 10 分の 1 にとどまっている。(毎日新聞 社説 2025/2/23 より)

\*\*\*\*\*

#### 【文化予算の現状と特徴】

ちなみに、最近の日本の予算に占める文化予算は、金額の推移：文化庁予算は 20 年以上にわたってほぼ 1,000 億円前後の横ばいで推移。

予算の主な用途：予算の 4 割以上が文化財の保存・修復に関連する費用に充てられている。

諸外国との比較：フランスの8分の1、韓国の12分の1程度。

2017年（平成29年）2001年の文化芸術振興基本法を改訂し、文化芸術基本法が制定されたが、未だに我が国では、建築とまち並みは、文化にも芸術にも規定されていないのです。

60年代以降は建築が経済成長の道具のように使われ始め、基幹産業として巨大化しました。それまでは企業がイメージアップのために建築家に本社ビルを依頼し、個性と風格のある建築をするケースが多かったのですが、70年代以降は建築家でなくエンジニアと大手建設会社だけが活躍できる高層ビルが増え、建物は、顔の見える風格ある文化ではなく益々、ただの不動産になってゆきました。

そして、そもそも国土交通省の主導する建築基準法における建築の概念は、安全と衛生と環境を国民に保障するハコです。経済成長を優先するために近代建築の建築的価値には配慮されず、それが現在までずっと続く根深い問題でアジア的です。唯一、経済的価値としてのインバウンド経済を目的とすることで、歴史的な建造物やまち並みが見直されてきてはいますが、これですらも、日本政府の施策の前に中国資本に先を越されて売られてしまった傷が大きく残った現状があります。

例えば移転・新築の候補にもなった前川國男建築の宮城県美術館や、広島市の被爆建物である「旧陸軍被服支廠」などは、市民の方々が反対の声を上げてその計画が断念されました。

一般の方々がその建築に興味を持って接していたからこそ、そうした動きが生まれたという点は重要です。

日本では、建築が文化芸術に位置付けられていないために、文部科学省の教育からは地域の歴史は教えても、そこに登場すべき建築の価値については殆ど教えません。

大学で建築学科に進まない限りは戦後建築について学ぶチャンネルがありませんし、建築とまち並みの保存活用にとって、建築を文化として芸術として身近に感じる人々がいるか、いないかは大きな違いになります。

フィンランドのように初等教育で建築を学ぶ環境をつくり出すことも重要な課題と云えます。

#### ●千葉県産木材の建築利用の難しさ

初めは自らの仕事で千葉県産木材を利用する事の難しさを知りました。

JIA千葉の活動として、個人的にも千葉県産木材を沢山使おうとライフワークのつもりで始めた「千葉の森林再生プロジェクト」・・・この活動を通じて問題の真実が見えてくる中で確信したことがあります。

それは

- ・千葉県産木材を沢山使うのは簡単ではないこと
- ・千葉県産木材を安定して建築に利用してゆけるのは建築家であること

木材を使いましょう！ から始最近では国産の木材を使いましょう！ と国のアナウンスは変わってきました。しかし、地元産の木を使いましょう！ という掛け声は国からは挙がりません。

国（林野庁）は木材の利用促進として、国産木材生産量を増やす施策を進めています。

この施策は林業が盛んな「木材生産県」とっては地域木材活用の促進につながりますが、全国全ての地域で木材生産を増やすことに有効な設えではありません。

千葉県のように、大都市に近いために木材利用（建築材料）が多く、森林の面積が比較的小さいために木材生産量が少ない県には、「消費県」として木材の消費を期待する政策が取られています。

このように林野庁による国産材の利用促進施策は、生産県と消費県という2つの属性で捉えてその方向で補助金を出して政策誘導して木材循環の経済モデルを回しています。しかしながら戦後80年を経た今、消費県として木材非生産の運命を与えられた千葉県でも、戦前・戦後の国策による植林政策で植えた大量の杉が、伐り時をやや過ぎて沢山残り、これを切らずに荒れた山林を森林環境保護として間伐し、バイオマスのチップにするという非常に無駄な労力と材料消費をしています。

一方、樹木の間伐で里山を保全している森林組合など林業従事者からは「使う木を伐りたい・育てたい」という、労働目的性のある仕事のやり甲斐の話も挙がります。

地域の循環産業の支援・里山環境の保全・・・大量の需要とそれに合わせた生産体制から外れた千葉の林業を低値安定で活かしてゆく千葉の林業を建築家にしかできない方法で支えてゆきます。

#### 《ニコニコBOX》

- ・森田様 本日卓話をしていただきありがとうございました。放生会長・寺川典秀・尾形文貴原秀明・海老原正志・小川剛
- ・宇佐見さん、成田空港は楽しかったです。高橋幹事
- ・成田空港見学楽しみました。宇佐見さんありがとうございました。始平堂玄昌
- ・この度は皆様のご厚情をいただきありがとうございました。木下素子
- ・弟が結婚しました。岩館正雄
- ・宮さん2年目のスタートです。鈴木カウンセラーもう1年よろしくお祈りします。富山保昭
- ・成田空港楽しかったです！！ 鈴木達矢
- ・森田先輩 大変すばらしい卓話ありがとうございました。行方孝一郎
- ・先週の合同例会皆様お疲れさまでした。岩井田晴信

4/21 合計¥43,000 累計¥959,299

RI 会長メッセージ:

「よいことのために  
手をとりあおう」  
UNITE FOR GOOD

会長 放生 知晃 会長エレクト 萬燈 知永子  
幹事 高橋 潤一 次年度 幹事 原 秀明  
会報委員長 川上 良子

例会場 TKP 東京ベイ幕張ホール  
Tel: 043-296-1112  
事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町 12-1 トーン千葉ビル 7F  
Tel: 043-245-3206 Fax: 043-245-7525  
E-mail :makuhari-rc@niik.jp HP: <http://makuhari-rc.jp>